



大谷場東

教育目標

かしこく なかよく たくましく かがやく子の育成

- ◆発行：さいたま市立大谷場東小学校
- ◆住所：336-0016 さいたま市南区大谷場2丁目13番54号
- ◆電話：048-882-4618：FAX：048-811-1327
- ◆URL：https://oyabahigashi-e.saitama-cty.ed.jp

研究発表会 ～小・中一貫教育の取組～

校長 船田 敦史

朝晩の冷え込みに冬の到来を感じる季節となりました。今年は特に日ごとの寒暖差が大きく、体調の維持に一層の注意が必要と感じています。皆様もお気を付けください。

さて、本校では11月28日（火）に「さいたま市小・中一貫教育」に係る研究発表会を開催いたしました。当日は、さいたま市教育委員会から3名の責任者・指導者に来ていただき、これまでの本校と大谷場中学校における取組について指導助言をいただきました。また、市内小・中学校等から50名超の教職員がオンラインで参加していただきました。この「オンライン研修」の行い方については、小・中学校の研修担当、ICT担当が仕組みを考え、全教職員でリハーサルを行う等、何度も試行錯誤がなされました。関わってくださった全ての皆さんのおかげで、当日の成功があるのだと感じました。

研究の概要について簡単にご紹介します。

研究主題	児童・生徒の主体性を高める指導の工夫・改善 ～9年間を見通した小・中一貫教育の充実～	
研究仮説	児童・生徒に「成長の見通し」をもたせて活動させることで、児童・生徒の自主性を高めることができるだろう。	
視点	① 児童・生徒が「成長の見通し」をもつための工夫	② 小・中教員が「成長の見通し」を共有するための工夫
手立て1	学習成果物の共有（相互の作品掲示、お礼カード）	小・中学校の学習内容の共有（小・中合同研修）
手立て2	部活動交流の実施（6年生の部活体験）	小・中学校教員交流の実施（中学校教員による授業、相互の授業参観）
手立て3	授業交流の実施（大谷場バザールに参加）	生活ルールの共有（「大谷場スタンダード」作成）

上記以外の取組として、今年度から小学校の各学年と中学校の各委員会との交流（小学2年生に対し、中学校の図書委員の生徒が読み聞かせを行う等）を行っているところです。なお、第4学年からの一部教科担任制の導入や、高学年の日課表を中学校に合わせることも、この研究の一環で取り組んでいる方策です。

この研修は「仕組みづくり」の研究です。小・中9年間の子どもたちの学びの環境をよりよいものにすることが、子どもたちのよりよい成長につながると考え、試行錯誤してきました。大人達による環境整備は当然必要ですが、子どもたち相互の関わりはさらに大切であると考えます。

児童生徒が互いに「中学生をお手本にして」、「小学生のあこがれの存在になるように」といった感情を抱きながら学校生活を送ることができれば一番だと思います。今後も引き続き、よりよい関わり方を中学校と協力しながら模索したいと思います。

